

K&D

CONSULTING

Company Profile

Mission Passion Action

私たちは危機管理の 超プロフェッショナルです。

経験豊かな私たちが危機管理を全面的にバックアップ、
最適な危機管理コミュニケーションプログラムを提供します。

迅速で的確なアドバイスを提供致します。

ソーシャルメディアの急速な普及で消費者の声が可視化されるネット社会において、クライシス（危機）はいつそう多様化、高速化、複雑化しています。こうした状況下で対応を誤ると企業・組織の評判やブランドイメージは瞬時に崩壊するリスクをはらんでおり、リスク管理・危機管理に対する関心とニーズはますます高まっています。

このたび危機管理コンサルタントとして豊富な実績を有する久世 篤（久世コンサルティング事務所代表取締役）をチーフ・エグゼクティブ・コンサルタントに迎え、クライシスコミュニケーション・サービスの専門性をより高度化して、皆様のご期待にお応えするため、K&Dコンサルティング株式会社を設立いたしました。

事故・事件・不祥事対応をはじめとする危機管理、リスク管理、トップコミュニケーションや戦略PRの分野においても、これまで以上にきめ細かいコンサルティングサービス、アドバイスを提供致します。

K&Dコンサルティング株式会社

Mission Passion Action

> クライシスを起こさない。

リスク管理プログラム

> クライシスを収める。

クライシス（危機）対応 24時間コンサルティング

> 最適なコミュニケーションを。

コミュニケーションスキルアップトレーニング

危機管理とは何か。

クライシス（危機）は起きるもの。

そう考えていただくことが、危機管理のはじまりと、私たちは考えています。クライシスは「自分でコントロールできない」もの。小さな事故やトラブル、コンプライアンス違反は日々の業務の中で数多く起きています。それが現場にとどまらず、内部告発やメディアの知るところとなると大事に発展します。まずはクライシスを起こさないために、普段からどのような“備え”をするかが、リスク軽減につながります。

万が一、クライシスが発生したとき、その対処の内容とスピードによっては事態を悪化させ、会社の信頼を大きく毀損してしまいます。

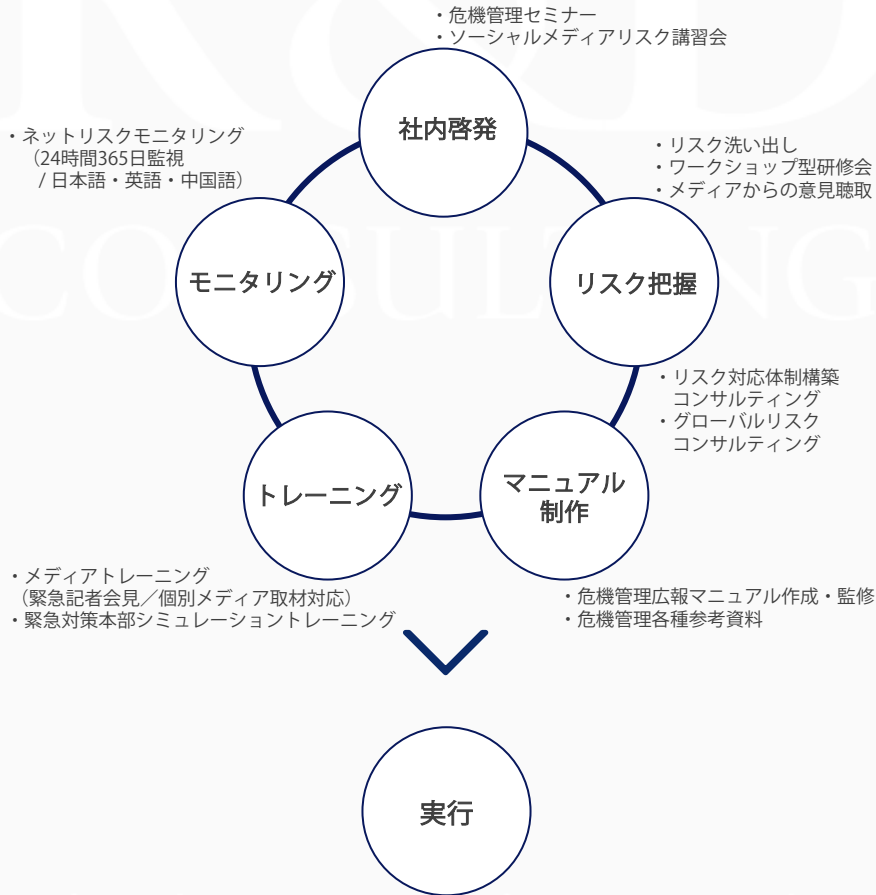
企業価値を高め、ブランドを維持するために社会に発信する日常のコミュニケーション活動も大切です。

そのためには企業・組織を代表するスポークスパーソンのコミュニケーションスキルアップが極めて重要です。

私たちは危機管理を3つの側面でとらえ、平時の備えを含めて最適なコミュニケーションプログラムを提供してまいります。

クライシスを起こさない。

リスク管理プログラム



備えあれば憂いなし。

小さな事故やトラブルは日々起きています。

それをクライシス(危機)に発展させないために、社員ひとりひとりにリスク管理およびコンプライアンス順守の意識を高めていただきたいのです。

仏に、魂をいれます。

クライシスが起きたらまず求められるのがアカウンタビリティ(説明責任)。責任ある立場の方が、否応無くメディアの前にさらされることになります。その時の内容のみならず、視線・表情・姿勢・態度…が企業、組織の印象を決めてしまう、と思って記者会見に臨んでいただきたいのです。

責任ある説明と信頼される態度。

正しく伝え、正しく理解され、報道されるためのトレーニングは不可欠です。

クライシスの芽、つみます。

Web・Twitter・Facebookなどを分析するリスクモニタリングにより、クライシスの予兆をある程度まで監視できるようになっています。いち早く予兆と傾向をとらえ、効果的な対応策を練り、備えていたために、大事に至らなかった事も多くあります。また、的確かつ迅速な初動対応を行う判断材料にもなります。

クライシスを収める。

クライシス（危機）対応 24 時間コンサルティング

初動対応 鎮火

- ・クライシス（危機）対応コンサルティング
- ・緊急記者会見／個別メディア対応サポート
- ・ホームページ、SNS 対応サポート
- ・報道状況分析
- ・メディア、アナリスト、政策関係者からの意見聴取
- ・ネットリスクモニタリング
(24時間365日監視／日本語・英語・中国語)
- ・ランクチェンジャー／削除要請
- ・ネット炎上対応コンサルティング
- ・インターナルコミュニケーションコンサルティング

原因究明 再発防止

- ・内部調査支援
- ・再発防止策策定サポートコンサルティング
- ・第三者調査委員サポート

信頼回復

- ・ステークホルダー別調査
- ・信頼回復サポートコンサルティング
- ・ブランドコミュニケーション

あわてないで。

クライシス（危機）発生を聞いたとき、まず「パニックにならない」「あわてないで」と申し上げます。「初期対応」こそ、クライシス拡大を防ぐターニングポイントだからです。誠実に対応したことが、メディアに叩かれる火種となったり、沈黙を続けることがかえってネガティブな憶測や風評につながり、誤報や風評被害に見舞われてしまう。「軽率にしゃべってもいけない」「ただただ沈黙もいけない」どこが境界線なのか。メディアやネット炎上と向き合ってきた私たちの豊富な経験をぜひ活用してください。

アカウンタビリティ（説明責任）を果たす。

「危機の收拾、問題の解決」と「メディア（およびメディアを通じた社会）への説明責任」。クライシスの発生時には2つの対応を同時に迫られます。特に「メディアへの説明」は平常時とちがう状況下のため、負担が大きいかもかもしれません。大丈夫です。説明責任の心構えとノウハウを知れば乗り切ることができます。むしろ、「クライシスそのものの解決」のほうに集中していただきたいのです。

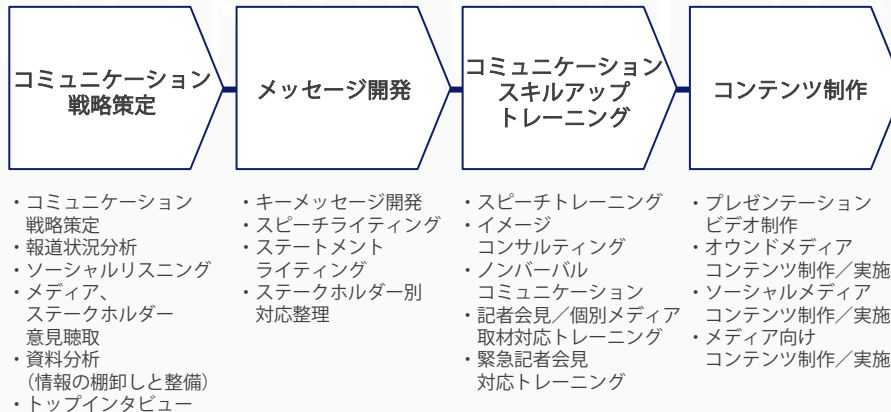
クライシス（危機）対応は信頼回復まで。

クライシス（危機）にワンストップで向き合う。それが私たちの強みです。クライシス対応は、「初動対応から危機收拾まで」ではありません。将来に向けた信頼回復、リスク管理、メディアや消費者との新たなリレーション構築など、点ではなく線や面で捉えたいのです。

また、昨今急増するネット炎上、SNS 対策など、いわゆるデジタルクライシスに対しては、ネット対策チームとの協働体制によりサポートします。

最適なコミュニケーションを。

コミュニケーションスキルアップトレーニング



コミュニケーションの鍵は
プレゼンテーションスキルにあり。

企業、組織の発信力を高めるトップ、スポークスパーソンの
プレゼンテーションスキル(説明能力)への注目も高まっています。
対外情報発信においては、企業、組織のトップ、スポークスパーソンに
留まらず、事業戦略やブランド戦略を語る最良なスポークスパーソンを選び、
組織力を結集し、発信力を高める工夫も必要です。
「伝えつつもり」のメッセージを、「伝わる」メッセージに変える。
効果的なプレゼンテーションを通じた最適なコミュニケーションこそが、
企業、組織の価値向上につながり、
ステークホルダーのレピュテーション(評価)を高めます。

私たちは危機管理の超プロフェッショナルです。

経験豊富な危機管理広報のトップコンサルタントが、貴社を担当します。



コンサルティング・ディレクター

森 健

Takeshi Mori
Consulting Director

1994年立教大学文学部卒、株式会社電通入社。
飲料・自動車・小売り・たばこ・エンターテインメント業界を中心に商品・企業PR、および危機管理対応を歴任した後、2012年より官公庁を担当。G to G、G to B、G to Cに向けた国の施策、法改正、補助金等の広報の他、ポスト2020を念頭に合意形成業務を担当。地方創生に向けたワークショップでの事業開発等、広報リアルも追及。
2016年9月より、K & Dコンサルティング株式会社
コンサルティング・ディレクター。

[受賞歴]

J A A A ・第30回懸賞募集「論文」の部 銀賞 (共同執筆/2001年)

[資格]

公益社団法人 日本PR協会認定PRプランナー



取締役
チーフ・エグゼクティブ・コンサルタント

久世 篤

Atsushi Kuse
Chief Executive Consultant

1973年京都産業大学外国語学部卒、毎日新聞入社、フルブライト・ジャーナリス研究員としてハーバード大学ニーマン・フェロー課程修了。1982年ギャビン・アンダーソン上席副社長、1990年株式会社電通パーソン・マーステラ上席副社長、1994年国務大臣防衛庁長官 政務秘書官 (細川内閣) を経て、1995年より久世コンサルティング事務所代表取締役。

2014年4月より、K & Dコンサルティング株式会社
取締役 兼 チーフ・エグゼクティブ・コンサルタント。

政財界、メディアに幅広い人脈を持ち、危機管理コンサルティングの第一人者として、食品・金融・生保・小売り・総合商社・自動車・海運・不動産・昇降機・インターネット・航空業界等の事故・事件・不祥事など危機管理対応コンサルティングやトップコミュニケーション、M&Aアドバイザーなど実績多数。

メディアトレーニング (企業、組織、行政) の実績は、
のべ1,000名を超える。

[主な著作物]

- 「アメリカをなめてはいけない」 (ごま書房)
- 「スーパー・ナンバー・ツー・日本」 (祥伝社ノンブック)
- 「日本問題 — アメリカではどう報道されているか」 (共著、かんき出版)
- 「企業・団体の危機管理と広報」 (共著、経済広報センター)



取締役
コンサルティング・ディレクター

松本 太

Futoshi Matsumoto
Consulting Director

1991年慶應義塾大学理工学部卒、山一証券株式会社入社。
同社の顧客向けIRサポート業務の立ち上げに携わった後、営業としてベンチャー企業のサポートに尽力する。同社の自主廃業を経験し、危機管理の重要性を思い知る。

1998年に京セラ株式会社入社。情報機器マーケティング担当としてメディア対応に従事。三田工業の会社更生法申請にともない京セラミタ (現京セラドキュメントソリューションズ株式会社) の再生プロジェクトに参画。経営問題を抱える企業へのコンサルティング経験を磨く。

2001年に株式会社電通入社。IR、コーポレートコミュニケーションを軸に、財務格付格下げ、株価下落、敵対的M&A、民営化対策、行政処分、企業再生といったさまざまなリスク・危機管理事案を多数手掛ける。

2014年4月より、K & Dコンサルティング株式会社
コンサルティング・ディレクター。

(社) 日本証券アナリスト協会検定会員。

「コーポレート・レピュテーション」 (翻訳 2005年 東洋経済新報社刊)



会社概要

社 名 : K&Dコンサルティング株式会社
(英文社名 : K&D Consulting Incorporated)

設 立 日 : 2014年4月1日

代表取締役 : 石田 茂

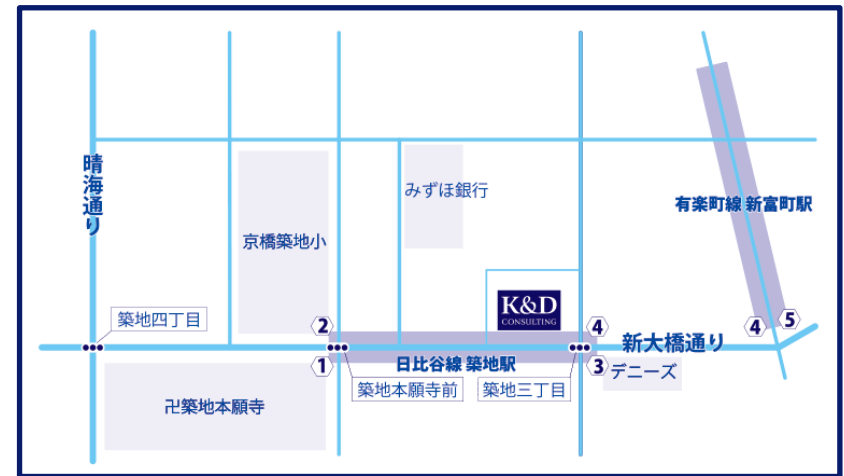
本社所在地 : 〒104-0045
東京都中央区築地2-11-10 築地中央ビル6F
TEL : 03-3524-7012 (代表)
FAX : 03-3524-7013

WEBサイト : www.kdconsulting.jp

資 本 金 : 5,000万円

事業内容 : 危機管理、リスク管理、トップコミュニケーションおよび
戦略PRに関するコンサルティング業務

【アクセス】



東京メトロ日比谷線 築地駅 No.4 徒歩1分
東京メトロ有楽町線 新富町駅 No.4 徒歩3分